

# 令和3年度第4回富里市地域公共交通会議

## 会 議 録

日 時 令和3年12月22日（水）午前10時00分  
場 所 富里市すこやかセンター2階会議室1

（委員）

所 属	氏 名	出 欠
富里市 副市長	山根 康夫	○
富里市 総務部長	粕谷 幸夫	○
富里市 企画財政部長	山室 俊夫	○
富里市 健康福祉部長	森 秀樹	○
富里市 経済環境部長	長谷川 敏彦	○
富里市 都市建設部長	相川 裕史	○
富里市 教育部長	金杉 章子	○
千葉交通株式会社 取締役兼自動車部長	河合 俊彦	○
京成タクシー成田株式会社 取締役社長	藤倉 孝一	○ (代理：梅田)
千葉交通労働組合 書記長	伊藤 賢	○
一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	○
国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	佐藤 義尚	○
千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班班長	渡邊 彰	○ (代理：青木)
成田警察署 交通課課長	中田 真史	○
公募市民	寺井 繁樹	○
公募市民	岡野 肇	○
富里市区長会	長谷川 英利	×
富里市シルバークラブ連合会	相馬 きよ子	○
富里市PTA連絡協議会	伊藤 智美	×
日本大学理工学部 教授	轟 朝幸	○
日本大学理工学部 准教授	伊東 英幸	×
成田国際空港株式会社 地域共生部長	高梨 弘子	○
富里市社会福祉協議会 会長	宮川 朱実	○

《事務局》

・富里市企画財政部企画課：永田課長、土屋課長補佐、太田副主幹、渋谷主査補

《配布資料》

- ・ 次第、委員名簿、席次
- ・ 資料 1 : 富里市地域公共交通計画 骨子案 (概要版)
- ・ 資料 2 : 富里市地域公共交通計画 (骨子案)
- ・ 資料 3 : デマンド交通の一部変更について
- ・ 資料 4 : 令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- ・ 資料 4 - 1 : 令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価  
(計画策定等に係る事業)
- ・ 資料 4 - 2 : 令和 3 年度富里市地域公共交通会議 (千葉県富里市)  
(地域公共交通計画策定事業)

《その他》

- ・ 国土交通省 プレスリリース資料
- ・ 今後のスケジュール

次 第

➤ 令和 3 年度第 3 回富里市地域公共交通会議

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

- (1) 富里市地域公共交通計画 (骨子案) について ----- 資料 1、資料 2
- (2) デマンド交通の一部変更について ----- 資料 3
- (3) 令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業 (国土交通省所管) の事業評価について  
資料 4、4 - 1、4 - 2

4 その他

5 閉 会

## 令和3年度第4回富里市地域公共交通会議

### 1 開 会

- 事務局が開会を宣言。
- 富里市地域公共交通会議傍聴規程に基づき、傍聴者7名入室。

### 2 挨拶

- 会長挨拶

#### 委員自己紹介

- 新たに委員となられた1名 自己紹介  
日本大学理工学部 教授 轟 朝幸 委員

### 3 議 事

- (1) 富里市地域公共交通計画（骨子案）について  
（資料1を事務局が説明）資料2については補助資料

#### 【決定事項】

- 議決  
（1）が承認された。

#### 【意見概要】

- 質問
- ① 課題の整理で、交通弱者とあるが、交通弱者等と改めた方が、ターゲットをひろく表現できるのではないか。
- ② 事業メニュー「⑧地域主体による新たな地域公共交通の導入に向けた取組」について、令和5年度実証運行とあるが、現段階で取組予定がないと、期間的に難しいと思う。イメージしている取組はあるのか。
- ③ 各地区の社会福祉協議会との意見交換で、地区で交通に関する取組があれば、計画書に記載してあげることで、市民の意識醸成につながると考えます。
- ④ SDGsについて目指す姿とあるが、第3章 課題の整理においてSDGsの視点も取り入れてみてはいかがか。
- ⑤ 事業メニュー「⑨交通事業者と連携した新たな交通システムの展開」「⑩富里市独自のモビリティサービスの検討」とあるがイメージがあれば、教えていただきたい。

⑥ 「⑦成田空港へのアクセス」は富里市の就業者等を公共交通で移動することができれば、自動車での移動を減らすことができ、脱炭素が図られる。実施スケジュールが5年間検討となっている。なるべく早く実施するのが望ましい。

#### 【事務局】

- ① 意見のとおり修正をしていきます。
- ② 各地区の社会福祉協議会と意見交換をしておりますが、具体的に決まっているものは現段階ではありませんので、素案の段階で表現も含めて調整してまいります。
- ③ 計画書への記載について、検討してまいります。
- ④ 課題整理をする上でSDGsの観点は重要であるので、検討してまいります。
- ⑤ 全国の先進事例を参考に、研究をしている段階。本市は住宅団地が点在している状況で、輸送資源を総動員し本市にあった交通システムを導入できればと考えている。
- ⑥ 空港へのアクセスの重要性については理解しているが、課題も多くある。よって、5年間を検討期間としているが、調査研究は進めていく。



(2) デマンド交通の一部変更について

(資料3を事務局が説明)

**【決定事項】**

●議決

(2) が承認された。

**【意見概要】**

●特になし

(3) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業(国土交通省所管)の事業評価について

(資料4、資料4-1、資料4-2を事務局が説明)

**【決定事項】**

●議決

(3) が承認された。

**【意見概要】**

●特になし

4 その他

○国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官 佐藤委員

・国土交通省のプレスリリースについて説明。

⇒交通事業者の厳しい経営状況。

⇒住民が利用することで、公共交通が成立する等の利用促進。

○事務局

・今後のスケジュールについて説明。

5 閉 会

-以上